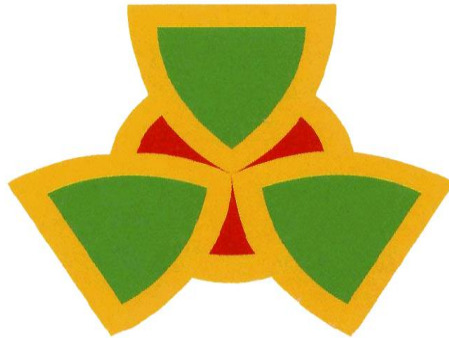


令和5年度 学校案内



きれいに

咲こうよ（主体性）

咲かそうよ（支援）

美咲特別支援学校 教育活動キャッチフレーズ



沖縄県立美咲特別支援学校

〒904-2153

沖縄県沖縄市美里4丁目18号1号

TEL:098-938-1037・7789・1140

FAX:098-938-7700

URL:<http://www.misaki-sh.open.ed.jp>

1 学校の概要

本校は昭和47年1月に琉球政府立中部養護学校として認可され、2月に設立準備事務所を美里小学校図書館に移す。翌月には美里公民館及び美里青年会館を仮校舎として借用し、3月には「琉球政府立美咲養護学校」、5月10日に開校式挙行（小学部22名、中学部14名）その後、校名を「沖縄県立美咲養護学校」と改め、昭和51年には高等部が設置される。平成8年には校舎の全面改修を行い施設・設備が一新され快適な学習環境になった。平成8、9年度は文部省指定の「障害児の就学指導に関する調査研究」協力校に指定される。平成12年1月には幼稚部設置及びプール改築工事が決定、平成13年4月に念願だった幼稚部の入学式が挙行された。平成13年度の10月には緑化コンクール「準特選」沖縄県緑化推進委員より表彰を受ける。

平成21年4月1日に校名を「美咲特別支援学校」と改める。平成26年4月に本校過密化解消を図るため、北中城村の沖縄ろう学校敷地内に「美咲特別支援学校はなさき分校」が開校し、令和3年度には「沖縄県立はなさき支援学校」が本校化となる。また、令和4年度には「美里高校分教室」、「総合教育センター分教室」が設置された。現在、本校の幼児・児童・生徒数は393名、職員数212名であり、「自立、社会参加・貢献」のできる幼児・児童・生徒育成と特別支援教育のセンター校として取り組んでいます。

2 本校の教育目標

幼児児童生徒個々の調和のとれた人間性の育成を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、社会の変化に主体的に対応できる知識・技能・意欲・態度等の育成等のキャリア発達を促すとともに、心豊かでたくましく生きる力を育み、個々の教育的ニーズや適性に応じた自立・社会参加・貢献ができる幼児児童生徒を育成する。

- (1) 健康な身体と明るい心の育成（心身ともに健康で明るい子）
- (2) 日常生活を豊かにする生活習慣の形成（身のまわりのことが自分でできる子）
- (3) 豊かな情操を培い、コミュニケーション能力の育成（心豊かで思いやりのある子）
- (4) 粘り強く最後までやり抜く力の育成（目標をもって最後まで努力し進んで働く子）
- (5) 自立・社会参加・貢献に必要な資質・能力の育成（自ら考え学び、行動する子）

3 本校の教育目標を達成するための方針

- (1) 新学習指導要領に沿った教育課程を計画的かつ組織的に編成・実施・評価し、教育の質を向上させる。
- (2) 新学習指導要領に沿った教育課程の改善・充実を図り、幼・小・中・高等部が連携した系統性・一貫性のある教育を推進する。
- (3) 幼児児童生徒の生活年齢、発達段階及び障害の状態等に応じた教育課程を編成し、R-PDCAサイクルを循環させて、個別の教育支援計画や個別の指導計画を効果的に活用した指導体制を構築する。
- (4) 幼児児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」につながる学習指導の改善・工夫を心がけ、指導目標と学習評価が対となる「指導と評価が一体化」された、分かりやすい授業の改善を図る。
- (5) 子どもたちの生涯を見通し、一人ひとりの生活自立と地域社会における生活につながる学習活動を重視し、発達段階に応じたキャリア教育の充実を図る。
- (6) 交流及び共同学習を推進し地域社会や保護者との連携・協働を図る。（社会に開かれた教育課程の推進）
- (7) 学習の効果があがる学習環境の整備充実を図り、安心安全な教育環境の整備に努める。
- (8) 福祉、医療、労働等の関係機関と積極的に連携し、幼児児童生徒の支援の充実を図る。
- (9) 幼児児童生徒の情緒の安定を図り、情操を高める教育活動を創出する。

4 今年度の重点目標

- (1) 新学習指導要領を踏まえた子どもの「学びの履歴」を把握し、育成を目指す資質・能力を考慮した指導内容（題材・単元）を整理し教科指導の充実を図るとともに、的確に捉えた子どもの実態・課題に基づく自立活動の充実を図る。（指導内容確認表、流れ図を活用した個別の指導計画および年間指導計画の作成等）
- (2) 個別の指導計画および年間指導計画等の実施状況等を踏まえ、教育課程の実施状況の評価及び改善の充実を図っていく。
- (3) 子どもの主体性を重視した「アクティブ・ラーニング」を念頭に、ICT機器等の効果的活用や子ども自身が学習の目標と評価（振り返り）ができる「分かりやすい授業」の工夫を図る。
- (4) 教育課程の実施に必要な人的資源（外部講師、スクールカウンセラー等）の活用を推進すると共に、学校内外の施設・設備等の物的資源の有効活用を図る。
- (5) 学ぶことと将来のつながりを意識しながら、自立・社会参加・貢献に向けたそれぞれの段階に必要な資質・能力（**か**かわる力、**ふ**り返る力、**や**りぬく力、**み**とおす力）を身に付けていくことができるよう、幼・小・中・高等部が教科等横断的な視点で連携・協働したキャリア教育の充実を図る。

また、高等部においては就業体験の充実を図り、就業支援センター等の労働・福祉関係機関や保護者と連携協力し、職場開拓・進路開拓を進め、卒業後の働く場・生活面の自立を目指す場等の拡充を図る。

- (6) 地域の幼・小・中・高等学校との交流及び共同学習や地域資源を活用した活動、地域貢献の活動を積極的に計画し実践する。
- (7) 家庭と連携した食育を実践し、偏食や肥満等の改善と食物アレルギーへの対応を行う。
- (8) 生涯学習への意欲を高めることや、生涯を通じてスポーツや文化芸術活動に親しみ、豊かな生活を営むことができる素地を育てる。
- (9) 地域の特別支援教育のセンター的役割として、特別支援部を中心に福祉、医療、労働及び市町村、関係機関との連携と支援会議を強化し、幼児児童生徒の支援の充実を図る。
- (10) 卒業後、社会人として必要とされる、時間を意識した行動や整理整頓・美化、率先した挨拶・返事、望ましい服装容儀である「美咲プライド」（時を守り、場を清め、礼を正す）の定着・習慣化を図る。

5 本校の特色

教育内容として、幼稚部では遊びと基本的な生活習慣の育成を中心に、小学部・中学部・高等部では学習指導要領の改訂に伴い、各教科を中心とした指導や道徳、特別活動、自立活動等を行っています。卒業後の自立や社会参加・貢献を目指し特色ある学習内容を設定し、幼・小・中・高等部が連携したキャリア教育の充実を図っています。



幼稚部「遊び」



小学部「算数」



中学部「社会」



中学部「美術」



高等部福祉作業所での実習



高等部一般企業での実習



総合教育センター分教室
「職業」授業風景



美里高校分教室
販売学習の様子

[幼稚部・小学部]

幼稚部・小学部では、基本的な生活習慣の形成や豊かな感情・表現力を育成し、約束やきまりを守り集団生活に必要な知識・技能を身につけさせる等、「生活する力」の育成を図る指導を行っています。

[中学部]

中学部では、自立し、社会参加・貢献のできる生徒の育成をめざしています。生活経験を豊かにし将来の職業生活や社会生活に必要な協働の精神や協調性、責任感、集中力等を身につけさせる指導を行っています。

[高等部]

高等部では、職業自立を目指した学習（職業）や英・数・国・理・社の主要教科も取り入れた教育課程を編成しています。卒業後の社会参加・貢献のできる生徒の育成を目指しており、特に校内実習、産業現場等における実習を通して体験的な学習を重視しています。令和4年4月より「総合教育センター分教室」、「美里高校分教室」が設置されました。

※中・高等部（美里分教室・総合教育センター分教室を含む）において「校内実習・現場実習」を行っています。中学部では校内実習を一週間。高等部は二週間の実習期間を設け、「本人の適性及び職場や施設との相性を確認する」「進路決定における現段階の力を知り、主体的に進路を選択する力を育成する」事を目的とし、実施。

※総合教育センター分教室（高等部）

令和4年4月に設置された総合教育センター分教室では、教育課程は本校と同じながら教科「職業」において「オフィス・アシスタント班」「介護コミュニケーション班」「エコロジーサービス班」を設け、一般就労に向け、より体験的・実践的な学習を行っています。

※美里高校分教室（高等部）

令和4年4月に設置された美里高校分教室では、本校と同じ教育課程で学びつつ、学びの場が美里高校であるため、美里高校生との交流や協働学習を通して、社交性やコミュニケーション力の向上など社会性の向上が期待されています。

6 通学

児童生徒はスクールバスを利用することができます。各バスにはそれぞれ介助員も乗っており、安全運行に努めています。※卒業後の社会参加・自立を進めるため、自力通学（徒歩や路線バス）の指導も進めています。

7 教育相談・学部説明会

本校では、就学前幼児及び児童生徒の支援・指導についての相談や、学校見学に応じています。お気軽にご相談下さい（事前に連絡をお願い致します）。1学期に各学部の説明会を行っています。

8 入学案内

小学部・中学部への入学につきましては沖縄県教育委員会からの通知に基づいて入学することになります。幼稚部・高等部への入学は、入学選考を行います。入学を希望される方は、本校へお問い合わせ下さい。

9 幼児・児童・生徒数

	学級		児童生徒				
	一般	重複	一般	重複	男	女	合計
幼稚部	1	0	3	0	2	1	3
小学部	19	16	99	47	113	33	146
中学部	12	8	62	23	57	28	85
高等部	11	11	80	33	76	36	112
総合教育センター分教室	4	0	24	2	19	7	26
美里高校分教室	3	0	20	0	16	4	20
合計	50	35	288	105	283	109	392

10 教職員実数

職種	校長	副校長	教頭	事務長	主幹教諭	幼教諭	小教諭	中教諭	高教諭	養護教諭	実習助手	学校事務	司書	栄養教諭	介助員	用務員	非常勤	合計
本校	1	0	2	1	0	2	62	41	55	2	2	6	1	1	6	2	6	190
センター分教室			1						10	1								13
美里分教室									7	1								8
																		211

11 進路状況（過去3年間）

年度	一般就労	就労移行	就労継続A	就労移行B	自律訓練	生活介護	職業訓練校等進学	その他	計
令和2年	10	17	1	9	3	6	3	1	50
令和3年	4	16	0	6	4	7	0	1	38
令和4年	20	14	0	1	6	13	1	2	57

12 学校案内図

